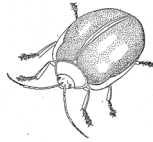


# たんぽう



## ハラアカコブカミキリ, 北但馬に定着か

小西和夫

北但馬 (香美町香住区御崎) でハラアカコブカミキリ *Moechotypa diphysis* (Pascoe, 1871) を確認したので報告する。

2021年5月, 余部崎灯台近くの林道脇で広葉樹の伐採木に多数貼りついており, 雄を背負って材上を忙しく歩き回るペアも多く見られた。林道の少し離れた場所の倒木でも確認され, この地ではすでに定着していると思われる。

対馬の特産種だった本種は, シイタケ楢木等の移入により九州から四国, 中国地方に分布を拡大しており, 近年では岐阜, 埼玉, 千葉, 茨城でも発見されている。兵庫県内のハラアカコブカミキリについては1960年代に伊丹市で多数得られたとの記録があり, 2009年には姫路市安富町でシイタケ楢木から1頭が確認されたが, いずれも楢木や薪の移入に伴う偶産種と推定されている。2017年には鳥取市, 2018年には岩美町でも確認され, 兵庫県に侵入・定着するのは時間の問題であると思われる。

なお, 御崎集落ではシイタケの原木栽培は行われておらず, 侵入経路は不明である。

### ○参考文献

- 廣田嘉正・三木三徳・八木正道, 2001. 兵庫県のカミキリムシ: 76
- 岡田浩資, 2010. ハラアカコブカミキリの姫路市安富町からの記録. きべりはむし, 32(2): 55
- 大生唯統, 2018. ハラアカコブカミキリ, 岩美町へ進入. ゆらぎあ, (36): 19
- 高井 泰, 2020. ハラアカコブカミキリの岐阜県からの記録. 月刊むし, (595): 55
- 吉武 啓・楨原 寛, 2017. 茨城県におけるハラアカコブカミキリの採集例. さやばねニューシリーズ, (28): 33

(Kazuo KONISHI 兵庫県西宮市)



図1 ハラアカコブカミキリ, 2021年5月3日.



図2 ハラアカコブカミキリ, 2021年5月25日.



図3 林道脇の伐採木, 香住町香住区御崎.

この裏側はハラアカコブカミキリたちの運動会だった。なお昨年(2020年5月29日)の訪問時には, この辺りの伐採は行われていなかった。

## 北但馬でチャイロチビヒラタカミキリを確認

小西和夫

2021年5月25日, 北但馬 (香美町香住区御崎) でチャイロチビヒラタカミキリ *Phymatodes (Phymatodellus) infasciatus* (Pic, 1935) を確認したので報告する。

日本海に面した小規模な伐採地 (標高 250m) に, ブドウ類やアケビなどの枯蔓が絡まった粗朶が積まれており, ビーチングで2頭を確認・撮影した。体長4~5mmほどと極めて小さく, 九州・本州に多いとされる上翅が2色の個体である。この枯蔓からは近縁のシ